

なんでやねん

発行責任者 倉橋 志

No.4

低い食料自給率

日本の食料自給率は、1961年には78%あった。しかし、近年では40%近くまで下がっている(図1)。下がり始めたのは、1960年代の高度経済成長期以降で、工業の発展に力を入れてきた歴史と時期的には一致する。

食料自給率が低い原因は様々あるが、生命を支える食料を自分たちで作らない国であることは事実である。

品目別に自給率を見ると、90%を超えているのは、コメと鶏卵だけである(図2)。

しかし、家畜用の飼料(えさ)は約80%を輸入しているの、鶏卵の自給率や、肉類の自給率55%は、事実上はもっと低いことになる。

輸入品目と国・地域別割合

(農林水産省のHPより)

チラシ広告ではつかめなかった食料品別の輸入相手国の詳細は、農林水産省の貿易統計(2015年、金額ベース)を見てみよう。



豚肉



牛肉



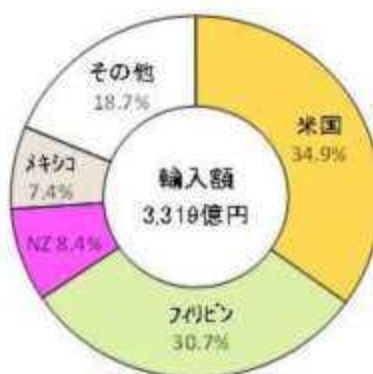
とうもろこし



冷凍野菜



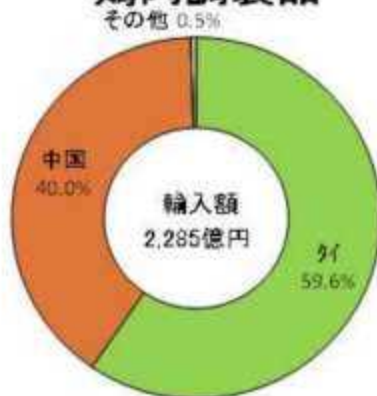
生鮮・乾燥果実



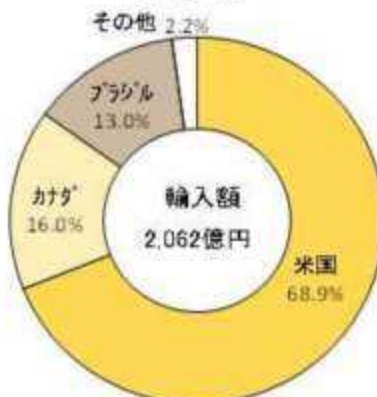
鶏肉



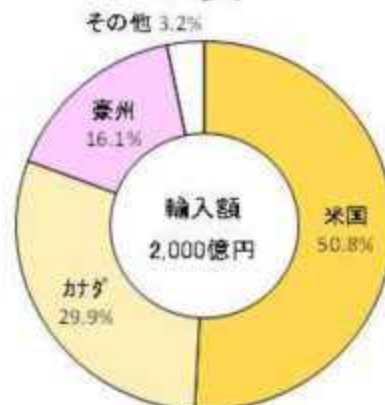
鶏肉調製品



大豆



小麦



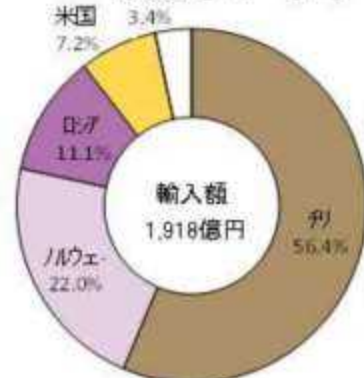
えび



かつお・まぐろ類



さけ・ます



農林水産物の主な輸入相手国・地域（2015年）

国別（金額ベース）でみると、農林水産物、農産物で米国が第1位となり、林産物、水産物では中国が第1位となった。

単位：億円

区分	1位	2位	3位	4位	5位
農林水産物	米 国 18,696 (19.6)	中 国 13,130 (13.8)	タ イ 5,887 (6.2)	カ ナ ダ 5,756 (6.0)	豪 州 5,459 (5.7)
農 産 物	米 国 16,071 (24.5)	中 国 8,126 (12.4)	豪 州 4,522 (6.9)	タ イ 4,462 (6.8)	カ ナ ダ 4,038 (6.2)
林 産 物	中 国 1,961 (15.8)	カ ナ ダ 1,221 (9.8)	マレーシア 1,220 (9.8)	インドネシア 1,103 (8.9)	米 国 1,016 (8.2)
水 産 物	中 国 3,043 (17.7)	米 国 1,608 (9.4)	チ リ 1,372 (8.0)	タ イ 1,204 (7.0)	ベトナム 1,081 (6.3)

注：（ ）は、金額ベースの構成比（%）である。